

## 藤原一一本松

オタカラコウ、センボンメリ、オバナマエムグラ、ヒメムグラ、イワナシ、アカモノ、ウスギヨウラク、サイゴクミツバツジ、イワウチワ、オイワカガミ、コシアブテ、ユキツバキ、サルナシ、マタビ、ヤマウルシ、ヒツバカエデ、ミツバウツギ、ソヨゴ、マツブサ、ハルユキノシタ、アズキナシ、ナカマド、タムシバ、ブナ、サルマメ、スキ、リョウメンシタ、マンネンスギ、トウゲシバ、ホソバトウゲシバ、ヒカゲノカズラ。

## 足羽山採鳥会

5月23日河村多実二先生の御指導を頼いてオ一圓の採鳥会を足羽山で開いた。夜も明けきらぬい午前5時郷土博物館の前に集合、約80名

足羽神社のモミノ森にゴイサギ、アオザキが、たくさん集まっている夜明けの西の空をハシブトカラスが、静かに飛び茶屋附近にスバメの鳴き声が聞える。

博物館の前に集合している間に東の森でシジウカラが鳴き出した。先生の合図で一斉に静まり足音一つ立てないで、目をつむつて廻り入る姿は貴く思われた。コカワラヒワのやさしい声が聞えた。三段坂を通り北側の車道を進むサクラ、ヒノキ林でシジウカラが鳴いていた。奥の茶屋附近でホジロが木の枝の一番先端、四方が見渡される位置にとまって大きい声で鳴いている。同一鳥でも地方によって鳴き方に変化があるとの事で、この山のシジウカラ、ホジロは他の地方のそれに比較して大変豪傑であるとの先生のお話でした。33商店附近で突然ホトトギスが、又3声鳴いたときは、驚きヒヒ喜びとつかない表情で皆感激した。

6月頃まではラブソンクだそうである。坂道を下って行くと南側盡くの森でキジバト、キジが鳴いていた。カッコウ、エナガが北側の林で鳴いた様でした。夜も明け青い空を静かに、アオサギが飛んで行く。アオサギは飛ぶ時首を曲げて居るのが注意すべき点との事でした。

明るくなるにつれて多くの数と種類もあって行く。道を引き返した前の所でホトトギスが再び鳴いたのは幸いでした。ホジロ、シマウカラがよく鳴いている。

南側の森でウグイスが鳴き、6羽のムクドリが飛ぶのが見られた。二葉の茶屋の前のサフランの木でシジウカラが三羽をそって鳴いていた。同種の鳥が近い距離で鳴く時は、はりあつて鳴く習性があるとの事です。午前8時博物館の前に意義深い振鳥会を閉じた。

鳴き声を聞いた鳥 (29.5.23 正羽山)

燕雀目

スバメ科 コカワラヒワ、ホヘジロ、スマメ、イカル

カラス科 ハシブトカラス、

シジウカラ科 シジウカラ、エナガ

ウグイス科 ウグイス

ムクドリ科 ムクドリ

杜鵑目

トケン科 ホトヘギス、カツコウ

鶲鶯目

ワシタカ科 トビ、

鶲鶯目

サギ科 アオサギ、ゴイサギ、

鳩目

ハト科 キジバト

鳩鶴目

キジ科 キジ (6日10科 / 16種)

寫眞

安本写真館

安本三秉雄

福井市左内町96 TEL. 1585番